

令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R7.6.18
担当課名	町民課
グループ名	保険グループ
記入者名	

1 事業概要

(1)事業名	特定健康診査等事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業
(4)第5次総合振興計画での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標	健康で安心して住めるまち(保健・医療・福祉の充実)	①会計区分	国保特会		
②大項目	社会保険	②財源区分	国県補助		
③中項目	国民健康保険の充実	③予算科目	款	4	項 1 目 1
④施策	保健事業の推進	④予算事業名	特定健康診査等事業費		
⑤施策コード	5.7.1.3	掲載ページ	95	ページ	
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・法定受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	無		
②根拠法令・条例等	高齢者の医療の確保に関する法律	終了	未定	年	月まで
③事業期間	開始 平成20 年 4 月から				

2 事業の目的・内容等

(1) 目的(何のために行うか)				(2) 内容(どのような取り組みか)			
特定健康診査で内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の対象者・予備群を選定し、特定保健指導を行うことで生活習慣病を予防し医療費の適正化を図る。				特定健康診査は比企医師会へ委託。健診項目は基本項目(国基準)、追加項目(比企独自+町独自)、眼底健診(町独自)、二次健診(町独自)。健診結果により生活習慣の改善が必要な者には、町直営で特定保健指導を実施する。			
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)				(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)			
小川町国民健康保険被保険者 (40歳以上75歳未満)				生活習慣の改善により健康寿命が延び、被保険者が末永く健康でいられる。医療費の軽減につながる。			
対象数		5,735		単位		人	

(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)

町民の長寿、健康増進及び医療費の削減等を目標とし、特定健診の受診率の向上を求められている。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)

(1)事業(内容) 項目 名称		特定健康診査等事業費				
決算・予算年度		R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)当初予算
(2)事業費内訳	委託料	26,614	25,901	26,054	24,280	27,682
	役務費	1,485	1,335	1,340	1,237	1,744
	需用費	987	1,062	367	393	461
	報償費	169	156	169	176	209
	負担金・交付金	16	16	25	25	26
	その他	1	1	40	40	342
直接事業費合計		29,272	28,471	27,995	26,151	30,464
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	7,670	8,474	7,723	7,389	6,556
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	21,602	19,997	20,272	18,762	23,908
合 計		29,272	28,471	27,995	26,151	30,464
(4)補助金名		特定健康診査等負担金				
(5)人件費						
投入職員数		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
年間人件費		9,154	9,050	9,025	9,326	9,638
(6)総事業費		38,426	37,521	37,020	35,477	40,102
サービス量(人)		2,229	2,304	2,138	2,319	2,200
サービス単価		17.2	16.3	17.3	15.3	18.2
(単位)		千円/受診者1人当たり				

4 指標の検証				特定健康診査等事業費		
指標名			単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算
(1)活動指標(実施した事業の量)						
指標名	特定健康診査受診率(法定報告人数) 国保特定健診受診率(総振目標指標p95)	目標値	%	60	60	49
		実績値	%	42.6	43.0	
		達成率	%	71.0	71.7	
		目標値				
		実績値				
達成率						
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)						
指標名	保健指導率	目標値	%	60	60	35
		実績値	%	18.2	31.5	
		達成率	%	30.3	52.5	
		目標値				
		実績値				
達成率						
(3)その他指標に現れない成果						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている	
					2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である	
					3 その他()	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている	
	2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である					
	3 その他()					
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している	
	2 他に有効な代替手段が見当たらない					
	3 その他()					
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している	
					2 サービス単価を維持している	
					3 その他()	
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている	
					2 おおむね公平に分配されている	
					3 その他()	
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	2	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている	
					2 成果指標は、前年度より向上している	
					3 その他()	
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	2	1 年度内に予定した事業は完了した	
					2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した	
					3 その他()	
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)						
<p>特定健康診査を実施し、早期に発見、治療することで重症化を予防し、町民の長寿、健康増進及び医療費削減に繋げる。そのために、受診勧奨を積極的に行うとともに、受診後は対象者に保健指導を実施する。</p> <p>受診率は、年代別に見ると男女ともに40代・50代が低い。</p>						
6 事業の方向性の判断				1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合		
評価主体	評価	評価についての説明				
(1)一次評価 (担当課長)	1 拡充	町民の健康寿命の延伸と、医療費の適正化に向けて拡充して実施する。				
(2)二次評価 (政策推進課長)						
(3)最終評価 (町長)						